

# 健康づくり基本計画 平成30年度 年次報告書

これまでの「ヘルシーピープルみえ21」の取組成果や県民の健康づくりを取り巻く状況などをふまえ、「健康寿命の延伸」、「幸福実感を高めるための心身の健康感の向上」の2つの全体目標の達成に向け、それぞれの方針に沿った各分野の主な取り組みを推進しました。

主な取り組みは以下のとおりです。

## I 生活習慣病対策の推進

### 1. がん対策の推進

2人に1人ががんに罹る現在、予防できるがん、治療できるがんへの対策、また、がん患者・がんに罹った患者を支える家族が、安心して暮らせる社会をめざし、平成26年4月1日から施行した「三重県がん対策推進条例」に基づきがん対策を総合的かつ計画的に推進します。

#### 1. 取組成果

##### (1) がん予防

条例に基づき、がん予防のための正しい知識の普及を目的に市町、企業団体等と連携した啓発イベントを実施するとともに、がん検診受診率向上のために市町担当学会議（年2回）の開催を通じて支援を行いました。

子どもの頃からがんに関する正しい知識と生活習慣を身につけるためのがん教育モデル授業を小学校から中学校にも拡大して実施しました。

(がん教育授業一覧)

平成29年9月25日(月)	津市立美杉中学校	1時限
平成29年9月25日(月)	津市立橋南中学校	1時限
平成29年10月11日(水)	津田学園中学校	1時限
平成29年11月8日(水)	名張市立南中学校	2時限
平成29年11月9日(木)	津市立一志中学校	1時限
平成29年11月27日(月)	四日市市立内部東小学校	1時限
平成29年12月14日(木)	明和町立修正小学校	1時限
平成29年12月20日(水)	津市立久居西中学校	1時限
小学校2校、2時限、受講者 98名		
中学校6校、7時限、受講者 633名		



津市立橋南中学校



明和町立修正小学校

## (2) がん治療

平成 28 年 1 月から全国がん登録が開始されたことから、医療機関実務担当者を対象とした研修会（7 会場）を実施しました。

また、県内の届出対象指定診療所数は 212 診療所（H30. 1. 1 現在）となりました。

（全国がん登録実務担当者研修会開催日程）

日時	開催場所
8 月 2 日（水）13:00～15:00	三重大学医学部附属病院
8 月 4 日（金）13:00～15:00	三重県立総合医療センター
8 月 9 日（水）13:00～15:00	伊賀市立上野総合市民病院
8 月 18 日（金）13:00～15:00	三重中央医療センター
10 月 13 日（金）13:00～15:00	鈴鹿中央総合病院
10 月 18 日（水）13:00～15:00	松阪中央総合病院
10 月 25 日（水）13:00～15:00	伊勢赤十字病院

## (3) 患者支援

がん診療連携拠点病院等において緩和ケア研修を 9 回実施し、208 名の医師が研修を修了しました。

（県内で開催された緩和ケア研修会）

開催日程	主催
5月17日（水）～20日（土）の4日間	伊勢赤十字病院
6月4日（日）、11日（日）	県立総合医療センター
6月10日（土）、11日（日）	三重大学医学部附属病院
7月16日（日）、17日（月）	松阪中央総合病院
8月26日（土）、27日（日）	三重大学医学部附属病院
9月16日（土）、17日（日）	三重中央医療センター
11月11日（土）、12日（日）	鈴鹿中央総合病院
12月3日（日）、10日（日）	市立四日市病院

三重県がん相談支援センターにおいて患者・家族に対する相談や交流会を通じた支援を行いました。

○ 三重県がん相談支援センターの概要

設置場所 三重県津庁舎保健所棟 1階(三重県津市桜橋3丁目 446-34 )

相談受付日時 月～金曜日、第1日曜日(翌日の月曜日は休み)

9:00～16:30(ただし祝日、年末年始はお休み)

委託先 公益財団法人三重県健康管理事業センター

(主な業務内容)

- ・ 相談支援事業(電話及び面談) 432件(うち面談104件)
- ・ がん患者、家族を対象とした交流の場の提供  
「おしゃべりサロン」実績(原則月1回) 延べ490人(県内7地域で開催)
- ・ がん死別体験による悲嘆のケア  
グリーフケアサロン「おあしす」実績 延べ110名(11回)
- ・ サポーター研修会の開催 76名(5月、12月開催)
- ・ 啓発事業(HP運営、各種講座開催等)
- ・ 定例会 年2回(がん患者会等の参加によりセンター運営方針を検討)



サポーター研修会の様子

## 2. 来年度以降の事業展開予定

- (1) がん対策に対する理解を深め、関心を高めるためがん県民運動を引き続き実施するとともに、学校教育現場でのがん教育を実施し、普及に向けたノウハウの蓄積に努めます。
- (2) 全国がん登録を推進し、がん登録で得られた情報を活用して科学的根拠に基づくがん対策の取組を推進します。
- (3) さらに研修受講者を増やすため、引き続きがん診療連携拠点病院等での緩和ケア研修を実施します。また、がん患者の就労について理解を求めるために県内企業を訪問して周知を行います。

### 3. 関連する評価指標の状況

#### ◆ 市町事業におけるがん検診受診率

	(計画策定時・H22)		(現状値・H27)	目標値(平成29年度)
○乳がん	20.8%	→	37.8%	50.0%
○子宮頸がん	26.7%	→	53.1%	50.0%
○大腸がん	20.5%	→	32.8%	40.0%
○胃がん	8.0%	→	10.0%	40.0%
○肺がん	20.2%	→	25.4%	40.0%

出典：厚生労働省「地域保健・健康増進事業報告」

※ 「地域保健・健康増進報告」のがん検診にかかる受診率については、対象者数(分母)について、平成26年度報告までは職域等で受診機会のある人は除かれていましたが、平成27年度報告から職域等で受診機会のある人も含め全住民に変更となったため、経年的な比較ができなくなりました。そのため、平成27年度報告以降は、平成26年度までの算出方法による試算値により、評価・検証を行うことにしています。

## 2. 糖尿病対策の推進

糖尿病に関する知識の普及や特定健診受診率、特定保健指導実施率向上の取組により、適切な受療につなげ、糖尿病発症予防や重症化を抑制することが必要です。三重の健康づくり基本計画及び第7次三重県医療計画に基づき、関係機関や団体と連携のもと、発症予防や重症化予防に重点をおいた対策を推進します。

### 1. 取組成果

#### (1) 県民への啓発

- ・世界糖尿病デー及び全国糖尿病週間の周知と、期間を通しての糖尿病予防啓発に取り組みました。
- ・三重県糖尿病協会が主催するみえ糖尿病予防啓発県民公開講座において、糖尿病予防にかかるブースを設け、健康づくり啓発を行いました。(H29.11.19)
- ・糖尿病が疑われる人や肥満症の人を中心に食生活相談会を三重県栄養士会に委託して実施し、糖尿病発症予防と重症化予防に取り組みました。
- ・慢性腎臓病に対する正しい知識の普及のため、三重CKD委員会に委託し、県民公開講座を開催しました。

開催日：平成30年3月4日

場所：三重県総合文化センター中ホール 参加者：339人

#### (2) 関係機関との連携

- ・三重県糖尿病対策懇話会を新たに設置し、糖尿病の予防や医療に携わる関係機関の連携を図りました。

- ・29年度策定された「三重県糖尿病性腎症重症化予防プログラム」に基づき、全県的な取組を進めていくために、三重県医師会、三重県糖尿病対策推進会議、三重県保険者協議会及び三重県において連携協定を締結しました。(H29.12月)

## 2. 来年度以降の事業展開予定

- (1) 関係機関・団体との連携のもと、県民公開講座や生活習慣病予防食生活相談会などを開催し、予防や治療を継続することで、悪化や合併症を防ぐことを県民へ啓発します。
- (2) 糖尿病の予防や支援に関わる多職種が糖尿病に関する専門的な知識を身につけられるよう研修会を開催するなど人材育成に努めます。

## 3. 関連する評価指標の状況

### ◆ 糖尿病性腎症による新規透析導入患者数

(計画策定時・H22)	(現状値・H27)	目標値(平成29年度)
— (評価指標見直しのためデータなし)	→ 206人	→ 減少
	(10万人あたり11.1人)	

## 3. 特定健診・特定保健指導受診率向上への取組

高齢化の急速な進展に伴い、疾病全体に占めるがん、虚血性心疾患、脳血管疾患、糖尿病等の生活習慣病の割合が増加しています。平成20年4月より、「高齢者の医療の確保に関する法律」に基づき、生活習慣病の予防を目的とし、「特定健診」と「特定保健指導」の実施が医療保険者に義務づけられ、各保険者により実施されています。糖尿病等の生活習慣病については、若年期からの生活習慣を改善することで、その予防や重症化、合併症発症のリスクを軽減できると考えられており、生活習慣を見直すための手段として身体計測、血圧測定、血液検査などを行う特定健診や健診結果に応じた保健指導の受診率向上の啓発、受診勧奨等を行っています。

### 1. 取組成果

#### (1) 人材育成

関係職員が健診及び保健指導を効果的に実施できることを目的として、「特定健診・特定保健指導実践者育成研修会」を開催しました。(受講者計3日 延べ406名)

#### (2) 県民への啓発

市町、団体等が主催するイベント等にて、特定健診・特定保健指導について啓発を実施しました。

### 2. 来年度以降の事業展開予定

- (1) 受診率向上に効果的な取組について、研修等を通じて情報共有するとともに、啓発取組を継続します。
- (2) 研修についてより多くの受講者を募るため、基礎的な内容のみならず新たな知見

等実践者のニーズに合わせた内容を取り入れます。また、健診・保健指導の研修ガイドラインに基づき5年毎に受講するよう呼びかけていきます。

### 3. 関連する評価指標の状況

#### ◆特定健診・特定保健指導実施率

	(計画策定時・H22)	(現状値・H27)	目標値(平成29年度)
○特定健診	44.3%	→ 53.0	70.0%
○特定保健指導	12.1%	→ 17.5	45.0%

## II メンタルヘルス対策の推進

### 1. 自殺対策

自殺は、失業、多重債務等の社会的要因や健康などの個人的な要因が複雑に関係し、うつ病などを発症しているケースが多いことから、第2次三重県自殺対策行動計画に基づき、総合的なうつ・自殺対策に取り組んでいます。また、自殺の実態や課題は、世代や地域などにより異なることから、対象の課題に応じた取組や、地域の実情に応じた対策を推進します。

#### 1. 取組成果

- (1) 保健所単位に設置したネットワーク組織を中心に、20の保健所及び市町が関係機関や民間団体と連携して自殺対策を実施しました。そのうちの19か所では企画段階からの参画を得て事業を実施しています。
- (2) 自殺率の減少が少ない若年層対策として、学校における自殺予防授業(自己肯定感の向上、援助希求行動促進、対人コミュニケーション能力向上などを含む)を実施しました。(中学校及び高校で11回実施)また、教師や関係者を対象とした研修会(8回実施)では、教育、保健、医療、行政等の職員が多数参加し、様々な場面での対応の仕方について研修を行いました。
- (3) 自殺のハイリスク者である自殺未遂者に対して、救急病院と地域が連携して再企図防止に向けた支援体制を整えることを目的に、未遂者支援アドバイザー派遣を1回行いました。また、医療機関、保健福祉等の職員を対象に2回、未遂者支援研修会を実施しました。
- (4) 自殺予防やストレス対処に関する正しい知識の普及や相談窓口の周知を目的に、県民公開講座の開催や街頭キャンペーン等を行いました。また、自殺対策強化月間(3月)には、FMラジオにて特別番組「みんなで取り組む、命支える」を放送し、広く県民に向けての啓発を行いました。
- (5) 市町及び民間団体が実施する自殺対策事業への補助を行いました。(18市町・14団体)

#### 2. 来年度以降の事業展開予定

- (1) 企画段階から関係機関や民間団体等が参加できるよう、各地域でネットワーク組

織の連携強化を図っていきます。

- (2) 学校現場に自殺予防教育を取り入れやすくするため、教材や授業方法について関係機関で検討します。
- (3) 自殺予防リーフレットの配布により、相談窓口の周知に努めます。また自殺未遂者に関わる救急医療機関の看護師等関係職員の人材育成と連携強化を図ります。
- (4) 地域のネットワークを活かして、各地域に効果的な啓発活動を連携して進めます。
- (5) 今後も補助事業が継続できるよう、国の動向をみながら財源確保に努めます。

### 3. 関連する評価指標の状況

◆自殺死亡率（人口10万人あたり）

（計画策定時・H23）	（現状値・H28）	目標値（平成28年度）
19.8人	→ 14.9人	16.1人

## Ⅲ ライフステージに応じた健康づくりの推進

### 1. 健康食育の推進

三重の健康づくり基本計画並びに三重県食育推進計画に鑑み、県民の健康的な食生活実現に向けて、各ライフステージにおいて県民自らが健康的な食生活を実践できるよう様々な主体と連携して、減塩や野菜摂取をはじめ食事バランスについての普及啓発に取り組みます。

#### 1. 取組成果

- (1) バランスのとれた食事をはじめ、野菜摂取や減塩を推進するため多様な主体と連携した啓発を行いました。（18回 18,059人）



イオンモール東員の食育フェス



県立図書館とのコラボ啓発

- (2) みえの食フォーラム（三重県栄養改善大会）を開催し、野菜フルや食塩エコを含めた食事バランスをテーマに、食育関係者、県民が共に考える場を提供しました。

- ・ 開催日：平成29年11月24日
- ・ 場所：三重県総合文化センター中ホール、参加者：557人



学生による減塩啓発



健康野菜たっぷり料理  
コンクール作品展示



参加者とともに笑いヨガ

- (3) 外食や中食を利用する際に、自分にあった適切な食事を選択できるように栄養成分表示や野菜たっぷりなどのヘルシーメニューを提供する飲食店を健康づくり応援の店として登録（更新）を行い、食環境の整備をおこないました（H30.3 登録件数：427 件）。
- (4) 健康増進法による給食施設指導や集合研修を実施し、給食施設の栄養改善を図りました。
- ・ 給食施設管理者研修会：平成 30 年 1 月 10 日 参加者：370 人
  - ・ 給食施設従事者研修会：8 保健所×1 回
- (5) 健康増進法及び食品表示法に基づき、食品関連事業者等へは食品の栄養成分表示等の指導を行い、消費者へは栄養成分表示の正しい理解や活用について普及啓発を行いました。（指導 337 件、研修会 23 回 806 名）また、三重県栄養士会に委託し、健康食品の表示の見方相談会を実施しました。（5 か所 733 名）
- (6) 管理栄養士の臨地実習の受入や栄養士養成施設の指導を行い、人材育成を図りました。
- ・ 養成施設：8 校、55 人 受け入れ保健所：8 か所
- (7) 平成 25 年度から 3 年間取り組んだ「食塩エコ～社員食堂節塩モデル事業～」の成果をふまえ、他の事業所への取組を推進し、働く世代の生活習慣病予防の食習慣の定着を図りました。（H30.3 県内 27 事業所で実施）

## 2. 来年度以降の事業展開予定

- (1) 引き続き、県民の健康的な食生活実現に向け、多様な食育関係者と連携しながらあらゆる機会をとらえて、食生活等の生活習慣に関する啓発活動を行います。
- (2) 給食施設指導においては、利用者の身体状況の変化などの分析により栄養管理上の課題が見られる施設に対し、重点的に指導を行います。
- (3) 食品表示法の施行による食品関連事業者等からの栄養成分表示や機能性表示食品等に関する相談に的確に対応し、県民へは栄養成分表示の正しい理解や活用について広く普及啓発を図ります。



## 3. 関連する評価指標の状況

### ◆健康づくりのための推進団体数（「健康づくり応援の店」登録店舗数）

(計画策定時・H24)	(現状値・H30.3)	目標値
3 9 2 店	→ 4 2 7 店	5 0 0 店

## 2. たばこ対策（受動喫煙防止対策）

がんをはじめとする生活習慣病予防のため、禁煙を希望する県民への支援や、公共の場や店舗での喫煙対策推進などにより、喫煙率の低下や受動喫煙対策など、たばこの煙の害がない社会環境づくりを推進します。

## 1. 取組成果

### (1) 「たばこの煙の無いお店」促進事業（H18年3月～認定開始）

三重県食品衛生協会に委託し、終日禁煙を実施している飲食店等を「たばこの煙の無いお店」として認定しています。認定したお店には認定証及びプレートを発行し、店頭での掲示をお願いしています。また、県ホームページにて認定店舗を紹介しています。（H30年3月末現在 458店舗）

### (2) 啓発活動

世界禁煙デー（5月31日）及び禁煙週間（世界禁煙デーに続く1週間）にあわせ、県民ホールにてパネル展示等を実施しました。

### (3) 県施設におけるたばこ対策の推進

県有施設でのたばこ対策を推進するため、庁内関係部局と連携して取組を進めてきた結果、本庁舎および地域総合庁舎において平成28年度から建物内禁煙を実施しています。

## 2. 来年度以降の事業展開予定

(1) 三重県食品衛生協協会や関係団体、市町、保健所との連携を強化し、会議、研修等の機会を利用した事業周知に努め、「たばこの煙の無いお店」認定登録店舗の増加をめざします。

(2) 世界禁煙デー及び禁煙週間をはじめとして年間を通じた啓発を実施し、受動喫煙防止の気運の醸成を図ります。

## 3. 関連する評価指標の状況

### ◆ 「たばこの煙の無いお店」登録数

（計画策定時・H24）	（現状値・H30.3）	目標値
242店	→ 458店	750店

## 3. 「三重県口腔保健支援センター」の取組

「みえ歯と口腔の健康づくり基本計画」に基づき、歯科口腔保健事業の企画、立案、実施、評価、及び市町、関係機関・団体等の歯科口腔保健の支援などを行うことにより、地域差を縮小し、健康寿命の延伸と生活の質の向上をめざします。

### 1. 取組成果

(1) 年齢に応じたフッ化物洗口の利用が推進するよう、保育・教育関係者や歯科医療関係者等に対して、フッ化物の正しい知識や具体的な応用方法の一つであるフッ化物洗口について研修会を開催しました。

- ・ 開催日：平成29年8月24日
- ・ 場所：三重県歯科医師会館 参加者：122名

(2) 市民センターや商店街など住民の身近な場所において、気軽に歯と口腔の健康について相談できる機会を提供しました。また、その場で歯周疾患の予防や歯の

喪失防止につながるよう、歯みがき習慣や生活習慣・食習慣の見直しや定期的な歯科受診の重要性等について周知するなど、歯と口腔の健康づくりに関する啓発を行いました。(44回 1,186名)

(3) 口腔機能の低下がみられる高齢者への歯科治療や口腔ケアが安全かつ効果的に行われるよう、歯科医師、歯科衛生士に対して、研修を実施し、知識および技術の向上を図りました。

- ・ 開催日：平成29年12月17日、平成30年3月4日
- ・ 場所：アストプラザ 参加者：81名、三重県歯科医師会館 75名

(4) 障がい児(者)の歯科治療や口腔ケアの技術の習得や、障がいについての知識および理解が深まるよう、保育・教育関係者、介護・福祉施設職員等を対象にみえ歯一トネット研修会を開催しました。

- ・ 開催日：平成30年2月8日
- ・ 場所：三重県歯科医師会館 参加者：130名

(5) がん等の疾患を持った患者の療養生活の質の向上を図るため、チーム医療に携わる関係者に対して、多職種が協働する中での歯科の役割や症例に応じた口腔ケア等について研修を行い、より専門性の高い歯科治療や口腔ケアについての知識や技術を持つ人材を育成しました。

- ・ 開催日：平成29年9月24日、平成30年1月14日
- ・ 場所：三重県歯科医師会館 参加者：108名、  
ホテルグリーンパーク津 参加者：70名

## 2. 来年度以降の事業展開予定

(1) 4歳から14歳までの期間において、継続的にフッ化物洗口が実施されるよう、年齢に応じたフッ化物の利用に関する正しい知識の普及を図ります。また、フッ化物洗口の実施を検討している地域には、取組が促進するよう関係機関・団体等と連携し専門的助言や技術的支援を行います。

(2) 地域の歯科保健医療を推進する拠点として、地区歯科医師会ごとに整備した地域口腔ケアステーションにおいて、在宅歯科保健医療等に係る相談や依頼の窓口としての活用が進むよう、活動内容等について県民や医療、介護関係者に周知します。

(3) 地域で障がい児(者)の歯科診療に対応できる歯科医療機関として、「みえ歯一トネット」への協力が得られるよう、歯科医療関係者に協力を働きかけるとともに、研修を実施するなど、歯科医療関係者の資質向上に努めます。

## 3. 関連する評価指標の状況

### ◆むし歯のない幼児の割合(3歳児)

(計画策定時・H23)	(現状値・H29)	目標値
78.3%	→ 84.1%	90.0%

◆むし歯のない児童の割合（12歳児）

（計画策定時・H23）	（現状値・H29）	目標値
45.1%	→ 59.9%	65.0%

#### IV 「協創」による健康な社会環境づくりの推進

##### 1. 取組成果

（1）ソーシャルキャピタルを活用した健康づくりの推進のため、市町職員、健康づくりに関する関係職員等が参加する「地域の健康づくり研究会」を開催しました。

##### 2. 来年度以降の事業展開予定

引き続き「地域の健康づくり研究会」を開催し、幅広い関係者の参加を呼びかけ、地域での取組の推進を支援します。

#### V 保健所における取組

##### ○ 桑名保健所

###### （1）生活習慣病対策の推進

###### 1. がん

###### <現状課題>

がんは、男女とも死亡原因の1位を占めています。がん検診受診率は向上傾向にありますががんの1次予防（正しい知識の習得や生活習慣病の改善）、がんの2次予防（早期発見・早期治療）を地域に向けて啓発していく必要があります。また、がんの精密検査受診率は改善されていません。

###### <取組内容>

- ・ ポスターやリーフレットによる啓発
- ・ 9月のがん征圧月間に県庁舎に懸垂幕の設置、桑名保健所ホームページを活用した啓発
- ・ 健康づくり関連イベントにおける啓発

###### <残された課題>

がん検診受診率・がん精密検査受診率の向上

（来年度以降の事業展開予定）

他領域（栄養・食生活、こころの健康、たばこ）の取組を通じて実施します。

###### 2. 糖尿病・循環器疾患等

###### <現状課題>

生活習慣病は自覚症状がないままに発症して進行するため、日頃から自身の健康意識を高められるよう、多様な機会をとらえて啓発する必要があります。

###### <取組内容>

- ・ 健康づくり関連イベントにおける啓発
- ・ 世界糖尿病デー、全国糖尿病週間における庁舎内ブースでの啓発

#### <残された課題>

生活習慣病の予防や重症化予防のためにさらなる啓発が必要です。

(来年度以降の事業展開予定)

他領域（栄養・食生活、こころの健康、たばこ）の取組を通じて実施します。

## (2) メンタルヘルス対策

### 1. 自殺対策・こころの健康

#### <現状課題>

三重県の自殺者数は減少傾向にあるものの、平成 28 年は 265 名が自ら命を絶っており、自殺未遂者を含めるとさらに多くの人がかころの問題を抱えていると言えます。今後も、引き続きこころの健康、自殺対策の取組が必要です。

#### <取組内容>

- ・ こころの健康づくり（自殺予防対策）研修会 1 回
- ・ ストレス対処についての研修会 1 回
- ・ 街頭啓発 2 回
- ・ のぼりやポスター掲示による啓発
- ・ 桑名保健所ホームページを活用した啓発

#### <残された課題>

「自殺は、その多くが防ぐことのできる社会的な問題」ということを意識し、社会全体の自殺リスクを低下させるために総合的な対策を講じる必要があります。

(来年度以降の事業展開予定)

「自殺対策強化月間」「自殺予防週間」などの機会をとらえ、重点的に啓発を行います。引き続き、関係機関（者）と連携した取組ができるよう情報共有を行います。

平成 30 年度は各市町で自殺対策行動計画を策定する予定になっています。

## (3) 健康づくりの推進

### 1. 栄養・食生活

#### <現状課題>

平成 28 年度実施の県民健康・栄養調査において、野菜の平均摂取量はすべての年代において不足しています。塩分摂取量は減少傾向にありますが、いまだすべての年代において過剰な状況であり、生活習慣病との関連が懸念されることから、これらの改善を含めた望ましい食習慣の定着のための取組が必要です。

#### <取組内容>

- ・ 給食施設巡回指導 45 施設
- ・ 給食施設従事者研修会 1 回
- ・ 栄養士職域ネットワーク研修会 1 回

- ・ 健康教育（食生活改善推進員、地域活動栄養士、調理師対象） 7回
- ・ 関係機関と連携した協働啓発 4回
- ・ ポスター掲示等による啓発

<残された課題>

野菜の摂取量増加のために給食施設巡回指導や研修会の場などにおいて啓発をする必要があります。また、栄養・食生活の現状を広く知ってもらうためにイベントや商業施設等人が多く集まる場所での啓発が必要です。

（来年度以降の事業展開予定）

野菜の摂取量増加を図るために健康づくり関連イベントにおいて啓発を行います。一般住民に三重県の栄養・食生活の現状を知ってもらうために、県民健康・栄養調査の結果から作成したリーフレットを啓発で活用します。

## 2. 身体活動・運動

<現状課題>

平成 28 年度県民健康・栄養調査において、運動習慣のある者の割合は男女とも増加していますが、日常生活における歩数については、男女とも減少しています。

<取組内容>

- ・ 健康増進普及月間を通じたポスターの掲示
- ・ 桑名保健所ホームページを活用した啓発

<残された課題>

日常生活の歩数の増加を含めた身体活動・運動に対する啓発が必要です。

（来年度以降の事業展開予定）

「健康増進普及月間」などの機会に合わせた啓発を行うとともに、ニーズに応じ情報提供を行います。

## 3. たばこ・飲酒対策

<現状課題>

たばこ対策について、喫煙による歯周病をはじめとする生活習慣病のリスクが高いことなど喫煙が与える影響についての啓発が必要です。また、受動喫煙防止に向けた取組が必要です。

飲酒対策について飲酒習慣のある人の割合は他県と比較して少ないですが、未成年者への啓発、こころの健康面からのアプローチ等多面的な取組が必要です。

<取組内容>

- ・ のぼりやポスター、リーフレットを用いた啓発

<残された課題>

引き続き禁煙に対する啓発、受動喫煙防止に向けた環境整備が必要です。

適正飲酒に関する啓発、未成年に対する啓発、こころの健康対策を交えた啓発が必要です。

(来年度以降の事業展開予定)

たばこ対策については、「世界禁煙デー」及び「禁煙週間」に重点的に啓発を行います。飲酒対策については、こころの健康と連携した取組を行います。

#### 4. 歯・口腔

<現状課題>

妊娠中の歯・口腔に関するリスクについての認知度が低く、歯科検診受診率が低いです。また、歯や口腔内の健康に関する関心も低いです。各市町の歯の健康指標において、達成されているものもありますが、達成されていないものもあります。

<取組内容>

- ・ 8020推進月間やいい歯の日、歯と口の健康週間を通じたポスターの掲示

<残された課題>

妊娠中の歯・口腔のリスクに関する周知が必要です。また、むし歯の減少や歯周疾患の予防、自分の歯を多く有する人の増加に向けた啓発が必要です。

(来年度以降の事業展開予定)

他領域(栄養・食生活、こころの健康、たばこ)の取組を通じて啓発するとともに歯科の啓発月間や週間等において啓発を行います。また、ニーズに応じ情報提供を行います。

### (4) 社会環境づくりの推進等

#### 1. 管内市町や地域住民等と連携した取組

<現状課題>

ソーシャルキャピタルの把握と連携、協創が必要です。

<取組内容>

- ・ 地域・職域連携推進協議会 1回
- ・ 管内市町栄養改善業務検討会 4回
- ・ 健康づくり応援の店との協働啓発 27店
- ・ 関係機関との協働啓発 4回
- ・ 健康づくり応援の店管内登録店 29店舗
- ・ たばこの煙の無いお店管内認証店 72店舗

<残された課題>

健康づくり応援の店やたばこの煙の無いお店などを地域に増やすための働きかけが必要です。

(来年度以降の事業展開予定)

地域の健康づくりのためのネットワーク組織である地域・職域連携推進協議会を活用して今後も定期的に情報共有を行います。健康づくり応援の店において、健康づくりに関する情報を発信します。健康づくり応援の店やたばこの煙の無いお店の協力店舗を増やすための積極的な働きかけを行います。

## ○ 鈴鹿保健所

### (1) 生活習慣病対策の推進

#### 1. がん

##### <現状課題>

来所者に対する啓発が主なものであり、地域住民への効果的な啓発を検討する必要があります。

##### <取組内容>

- ・ リーフレットによるがん検診受診の啓発
- ・ がん征圧月間ポスター掲示による啓発
- ・ 市がん検診の周知

##### <成果・残された課題>

市や職域と連携する等して、働く世代へのがん検診受診の啓発を行う必要があります。

(来年度以降の事業展開予定)

がん検診受診啓発リーフレットの配布、がん征圧月間等ポスター掲示、市がん検診の周知等の取組を進めます。

#### 2. 糖尿病・循環器疾患等

##### <現状課題>

企業と連携して従業員の節塩に取り組んでいますが、生活習慣病は、予防の観点を含め早期から食生活改善等の対策が重要です。

##### <取組内容>

給食施設巡回指導の際、企業における節塩状況を確認するとともに、必要に応じ、適切な塩分摂取について助言を行いました。

##### <成果・残された課題>

生活習慣病の発症予防と重症化予防を図るため、職域と連携して働く世代に向けた啓発が必要です。

(来年度以降の事業展開予定)

給食施設巡回指導、イベント等での生活習慣病予防リーフレットの配布、出前トークでの生活習慣病予防の啓発等の取組を進めます。

### (2) メンタルヘルス対策

#### 1. 自殺対策・こころの健康

##### <現状課題>

地域の関係機関や市民団体の活動を有機的につなげ、より具体的な顔の見えるネットワークづくりが必要です。

<取組内容>

① 啓発

- (1) イベントでの啓発:メーデー&ふれあい家族スタンプラリー、コープみえ「商品・くらし活動交流会」、亀山市あいあい祭り
- (2) 自殺予防週間:白子駅、平田町駅前での啓発テッシュ配布、HPでの啓発
- (3) 自殺対策強化月間:白子駅、平田町駅、鈴鹿市駅前での啓発テッシュ配布、鈴鹿庁舎1階ロビーに啓発コーナーの設置

② 人材養成事業

- (1) 支援者スキルアップ研修会  
「思春期臨床から見た精神保健・福祉・医療」  
三重県立こころの医療センター 臨床心理士 栗田 弘二 氏
- (2) 鈴鹿地域・職域連携事業  
「マインドフルネスで気持ちスッキリ！」  
鈴鹿医療科学大学 助教（臨床心理士） 福島 裕人 氏
- (3) 勤労者スキルアップ研修会  
働く人のためのポジティブシンキングセミナー  
「夢を諦めない…JUST DO IT！」  
クリス グレン 氏

③ 市民団体等への支援

いのちと心を守る鈴鹿市民の会

<成果・残された課題>

ネットワーク会議等で、関係者が情報交換や交流を図る機会を設け、つながりを強化するとともに、地域の課題を共有し取組を広げていけるよう働きかけが必要です。

(来年度以降の事業展開予定)

① 啓発

- (1) 健康づくりイベントでの啓発
- (2) 自殺予防週間・自殺対策強化月間における啓発
  - ・ 街頭啓発
  - ・ 各会議、研修会、HP等での啓発

② 人材養成事業

- (1) 支援者スキルアップ研修会
- (2) 若年層自殺予防研修会

③ 市民団体等への支援

### (3) 健康づくりの推進

#### 1. 栄養・食生活

##### <現状課題>

平成 28 年度実施の県民健康・栄養調査によると、野菜の平均摂取量はあらゆる年代において不足しています。野菜不足による栄養のアンバランスは生活習慣病の一因になりうることから、望ましい食事の実践への支援を推進する必要があります。また、食塩摂取量も減少傾向とはいえ、目標値を超えており、鈴鹿地域の年齢調整死亡率を見ると男女とも脳血管疾患と高血圧が県より高いため、減塩への取組が必要です。

##### <取組内容>

##### ・ 人材育成・支援

給食施設従事者研修会	1 回
地域活動栄養士活動支援	1 2 回
食育活動支援	2 回

##### ・ 啓発

イベント等での協働啓発	4 回
「健康増進普及月間」での健康づくり応援の店との協働啓発 ポスター掲示	2 0 か所
健康づくり応援の店	2 0 店舗
出前講座	1 回

##### ・ 指導

特定給食施設指導巡回指導	4 6 施設
--------------	--------

##### <成果・残された課題>

給食施設指導や各種研修会、イベント等の機会を捉え、野菜摂取や減塩の啓発を行っていますが、課題を改善するためには継続して取り組んでいく必要があります。

(来年度以降の事業展開予定)

県民健康・栄養調査結果に基づき、野菜摂取不足の解消に向けた取組を重点的にするとともに減塩の啓発も併せて行います。「健康増進普及月間」、「食生活改善普及運動」の期間に、関係機関や関係団体等と連携しながら啓発活動を行います。

#### 2. 身体活動・運動

##### <現状課題>

ロコモティブシンドロームの認知度はまだ低いことから、知識の普及と運動習慣

の定着に向けた取組が必要です。

<取組内容>

ロコモティブシンドロームの認知度が定着するよう、管内のイベント等で啓発を行いました。

<成果・残された課題>

数年前より企業と連携し、ロコモ・メタボ予防の取組を行い、企業の新たな活動として取組が始まっており、継続して企業における取組がなされるよう支援が必要です。

(来年度以降の事業展開予定)

管内の市や企業のイベント等、様々な機会を通じて、継続して啓発を行います。

### 3. たばこ・飲酒対策

<現状課題>

アルコールの適量摂取やたばこによる健康被害等についての知識の普及を図る必要があります。

<取組内容>

- ・管内各市の健康づくりイベントでのアルコールパッチによる啓発
- ・「たばこの煙の無いお店」の登録
- ・「世界禁煙デー」ポスター掲示
- ・専門学校等にたばこのリーフレットを配布し、生徒に啓発を行いました。

<成果・残された課題>

アルコールの適量摂取やたばこによる健康被害等について地域住民の理解は深まっているものの、行動につながる効果的な取組を行う必要があります。

(来年度以降の事業展開予定)

管内市のイベントをはじめ、様々な機会を通じて、継続して啓発を行います。

### 4. 歯・口腔

<現状課題>

健康づくりイベントや啓発期間等の機会に啓発を行っていますが、市や歯科医師会、歯科衛生士会等と連携を図り効果的な啓発を行う必要があります。

<取組内容>

- ・鈴鹿食生活改善推進協議会において「歯とお口の健康」についての講演
- ・「歯と口の健康週間」ポスター掲示
- ・「8020推進月間」のぼりの掲示
- ・「口腔ケアステーション鈴鹿」の周知

- ・ 健康づくりイベント等での歯ブラシ、リーフレットの配布
- ・ 市歯周疾患検診の周知

<成果・残された課題>

各年代に応じた効果的な歯科疾患予防等の啓発を行うために、様々な関係者との連携を行う必要があります。

(来年度以降の事業展開予定)

- ・ 「歯と口の健康週間」「8020推進月間」等における啓発
- ・ 健康づくりイベント等での啓発
- ・ 市歯周疾患検診の周知

#### (4) 社会環境づくりの推進等

##### 1. 管内市町や地域住民等と連携した取組

<現状課題>

精神保健福祉支援団体、地域活動栄養士会、食生活改善推進協議会、企業、大学、養護教諭等と連携して、地域住民の心身の健康づくりに取り組んでいます。

<取組内容>

- ・ こころの健康：研修会の開催、支援団体会議への参加、啓発
- ・ 栄養：研修会の開催、企業従業員への働きかけ、団体会議への参加、啓発等

<成果・残された課題>

管内市や関係団体等との情報共有、連携事業等を行ってきましたが、更に連携を深め効果的な取組を行う必要があります。

(来年度以降の事業展開予定)

市や関係機関、関係団体の様々な取組の機会を通じて、継続して啓発を行います。

## ○ 津保健所

### (1) 生活習慣病対策の推進

#### 1. がん

<現状課題>

がんは、男女とも死亡原因の1位を占めています。がん検診受診率は増加傾向にあるもののさらに向上させるため、早期発見・早期治療の意義を地域に啓発していく必要があります。

<取組内容>

- ・ 市健康づくり推進懇話会での情報提供やアドバイス
- ・ 世界禁煙デーにあわせ、庁舎内での啓発
- ・ 様々なイベントや研修会を通してパンフレットを配布し、地域住民に啓発

<成果・残された課題>

- ・ 就労者の受診体制、若い世代のがん検診受診勧奨  
(来年度以降の事業展開予定)
- ・ 望まない受動喫煙が生じないよう、受動喫煙を防止するための措置の推進
- ・ 各種がんのパンフレットの配布及び窓口設置
- ・ 市の関係会議での情報提供等

2. 糖尿病・循環器疾患他

<現状課題>

津地域の平成24年～28年累計の女性の糖尿病の年齢調整死亡率は県平均より高くなっており、脳血管疾患と高血圧の年齢調整死亡率は男女とも県平均より高くなっています。

<取組内容>

- ・ 市健康づくり推進懇話会での情報提供やアドバイス
- ・ 様々な機会を通じた地域住民や食の関係者への啓発

<成果・残された課題>

- ・ 糖尿病、脳血管疾患・高血圧予防を推進するための環境整備
- ・ 特定健診受診率及び特定保健指導実施率の向上

(来年度以降の事業展開予定)

食塩摂取量の減少、野菜摂取量の増加、栄養成分表示の活用など、食生活改善についての普及啓発を引き続き実施

(2) メンタルヘルス対策

1. 自殺対策・こころの健康

<現状課題>

管内(津市)の自殺者数は、年間50人前後であり、自殺死亡率は、三重県平均よりやや高い年があるものの、減少傾向にあります。自殺の原因には、健康問題をはじめ、経済勤務問題、家庭問題など様々な背景があり、各関係機関が有機的に連携し、総合的に生きる支援に取り組んでいく必要があります。

<取組内容>

- ・ 自殺予防週間、自殺対策強化月間にあわせて街頭啓発の実施や庁舎内に啓発コーナーを設置
- ・ 健康づくり関連イベント等を利用した普及啓発、啓発物品の配布
- ・ 自殺予防リーフレット「こころの声を聴かせてください」の配布
- ・ 身近な支援者の人材育成として、メンタルパートナー養成研修の実施
- ・ 津地域・職域連携推進協議会の開催及びメンタルヘルス研修会の実施

<成果・残された課題>

- ・ 自殺予防週間、自殺対策強化月間の街頭啓発を津市と協働で行うことにより、よ

- り多くの住民へ自殺予防やこころの健康に関する啓発が効果的に実施できました。
- ・ 庁舎への来客者が足を止めて、ポスターを見たり、パンフレットを手に入れている場面も見られ、広く啓発できました。
  - ・ 働く世代へのアプローチとして、津地域・職域連携推進協議会と共催で、メンタルヘルスに関する研修会を実施しました。
  - ・ 自殺の原因は多岐に渡ることから、さらなる関係機関や団体との連携強化が必要です。

(来年度以降の事業展開予定)

- ・ 今後も津市をはじめ、各関係機関や団体との連携しながら、あらゆる機会をとらえ、自殺予防啓発に取り組みます。
- ・ 津地域・職域連携推進協議会の場を活用し、働く世代のメンタルヘルス対策に取り組みます。

### (3) 健康づくりの推進

#### 1. 栄養・食生活

<現状課題>

- ・ 未成年・成人で朝食を毎日食べる人の割合が平成 22 年度と比較して減少しました。(津市計画策定アンケート)
- ・ 女性で毎食野菜を食べる人の割合が平成 22 年度と比較して減少しました。(津市計画策定アンケート)
- ・ 津市の成人の脂肪エネルギー比の平均値が三重県の平均値より高くなっています。(平成 28 年県民健康・栄養調査)
- ・ 平成 28 年の県民健康・栄養調査では、30 代から 40 代の 4 人に 1 人は肥満であるため、生活習慣病予防の観点からも、特に 30~40 代男性の肥満者の割合の減少を目指す必要があります。
- ・ 加工食品等への栄養成分表示について、食品関連事業者には表示の適正化について、また消費者には活用について普及啓発をすすめる必要があります。

<取組内容>

- ・ 給食施設巡回指導を通じた食環境づくり
- ・ 健康づくり応援の店等を通じた啓発
- ・ イベント等を通じた野菜摂取増加の啓発
- ・ 食生活改善推進員、地域活動栄養士等への情報提供及び助言
- ・ 地域栄養管理ネットワーク研究会及び研修会の開催
- ・ 給食施設従事者研修会の開催
- ・ 保健所ホームページ等を活用した情報発信
- ・ 市健康づくり推進懇話会での情報提供やアドバイス
- ・ 人材育成

<成果・残された課題>

- ・ 野菜摂取増加を目指した取組みについては幅広い対象者に啓発できました。
- ・ 栄養・食生活面で課題の多い若い世代を対象とした積極的な取り組みが必要です。
- ・ 災害時の栄養・食生活支援活動については、市の状況を考慮しながら検討を進める必要があります。
- ・ 給食施設指導を通じた食環境づくりでは、巡回指導の効果もあり栄養管理や危機管理の充実については改善がすすめられている状況ではありますが、事業所については施設による温度差があります。働く世代にアプローチを行うには、事業所給食は効果的な発信の場となるため、巡回指導による継続した意識づけを促す必要があります。
- ・ 外食や中食でもバランスのとれた食事ができるよう、栄養成分表示の適切な表示や活用について周知を図る必要があります。

(来年度以降の事業展開予定)

- ・ 若い世代を対象とした適正な食生活に向けての効果的な取り組みの実施。
- ・ 事業所を通じて働く世代への啓発の実施。
- ・ 健康づくり応援の店登録店への健康情報の提供及び新規登録店の増加。
- ・ 保健所ホームページなどからの情報発信。
- ・ 野菜摂取促進や適切な食塩摂取に関して、健康づくり応援の店や関係団体、関係機関と連携しながら啓発を実施。
- ・ 栄養成分表示については、平 32 年 4 月の完全施行に向け食品関連事業者及び消費者への啓発の実施。

2. 身体活動・運動

<現状課題>

- ・ 個々のライフスタイルの変化に応じた、身体活動・運動の定着化に向けた取り組みが不十分です。
- ・ 日常生活における歩数が減少傾向です。
- ・ ロコモティブシンドロームに関する認知度がまだ低く、予防のための啓発が必要です。

<取組内容>

- ・ 保健所入口及び窓口に、啓発ポスターの掲示及びパンフレットの設置
- ・ 事業所でのロコモティブシンドローム予防の普及啓発の実施
- ・ ロコモティブシンドローム予防の普及啓発のための研修会の開催

<成果・残された課題>

- ・ ロコモティブシンドロームの認知度はまだ低いと思われるため、引き続き啓発が必要です。
- ・ 運動習慣の必要性について地域住民への啓発を継続して行う必要があります。

(来年度以降の事業展開予定)

- ・ 働く世代からのロコモティブシンドローム予防のための啓発や研修会を開催します。
- ・ あらゆる機会を通じて身体活動・運動の定着に向けた啓発を行います。

### 3. たばこ対策

<現状課題>

- ・ 受動喫煙防止に向けた環境整備とともに、喫煙者の減少に向け、たばこに関する正しい知識の普及啓発や情報提供が必要です。

<取組内容>

- ・ 世界禁煙デー及び禁煙週間に、庁舎内にて啓発ポスター掲示と啓発グッズの配布
- ・ ホームページにて啓発

<成果・残された課題>

- ・ 普及啓発活動を継続して実施する必要があります。

(来年度以降の事業展開予定)

- ・ 禁煙週間等に合わせ、ポスター掲示やリーフレット・啓発グッズ等の配布を行い、たばこに関する正しい知識の普及啓発を実施します。
- ・ 受動喫煙防止に向けた環境整備のための啓発を行います。

### 4. 歯・口腔

<現状課題>

- ・ 20代前半において、約半数の人が歯肉に炎症所見があることから、歯周疾患予防のために、小学生の頃から歯肉炎の予防を行うことが必要です。
- ・ 平成23年度には、40代前半で進行した歯周疾患がある人の割合は33.3%、60代前半では56%に増大しており、進行を防ぐために毎日の正しい口腔ケアと定期的な歯科受診の啓発が必要です。

<取組内容>

- ・ 歯の衛生週間に、庁舎内に啓発ポスター掲示と、必要に応じチラシの掲示

<成果・残された課題>

- ・ 関係機関と情報共有を図り、継続して普及啓発活動を実施する必要があります。

(来年度以降の事業展開予定)

- ・ 関係機関と連携しながら、必要に応じ情報提供や啓発を行います。

## (4) 社会環境づくりの推進等

### 1. 管内市町や地域住民等と連携した取組

<現状課題>

- ・ 社会全体として健康を支え、守る環境を作ることが求められています。

<取組内容>

- ・ 地域・職域連携推進協議会の開催

- ・ 健康づくりに取り組んでいるボランティア団体の育成・支援
  - ・ 「健康づくり応援の店」の登録拡大
- <成果・残された課題>
- ・ 健康づくり応援の店2店舗新規登録  
(来年度以降の事業展開予定)
  - ・ 引き続き、健康づくりに取り組むボランティア団体の育成・支援を行うとともに、「健康づくり応援の店」の登録拡大に取り組みます。

## ○ 松阪保健所

### (1) 生活習慣病対策の推進

#### 1. がん

##### <現状課題>

死因の1位はがんであり、総医療費に占める疾病割合においてはがんが県・全国を上回っていることから、がん検診受診率の向上やがん発生要因となる生活習慣病予防へのアプローチが必要です。

##### <取組内容>

- ・ 各協働イベント等での、がん予防普及啓発(年3回)
- ・ ヘルピー協働隊通信へのがん対策関連記事掲載(配信先61団体)

##### <成果・残された課題>

- ・ 「松阪地区地域・職域連携推進懇話会」を開催。がん検診など健康づくりについての情報共有や情報交換を実施(年1回)。
- ・ 引き続き働く世代を中心に、がん検診の受診や、がんの発生要因となる生活習慣対策を進める必要があります。

(来年度以降の事業展開予定)

- ・ 各種イベント等において、がんに関する正しい知識の普及啓発をすすめます。
- ・ 特に働く世代をターゲットにがん検診が進むよう、「地域・職域連携懇話会」を活用し、職域に向けた情報発信などを行います。

#### 2. 糖尿病・循環器疾患等

##### <現状課題>

男女ともにヘモグロビンA1cの有所見者率が高く、働く世代への生活習慣病予防対策についてアプローチが必要です。

##### <取組内容>

- ・ 各協働イベント等での、糖尿病・循環器疾患がん予防普及啓発(年3回)
- ・ 「松阪地区地域・職域連携推進懇話会」を開催。管内における糖尿病・循環器疾患など生活習慣病についての情報共有や情報交換を実施(年1回)
- ・ 職域における生活習慣病予防への取り組みを支援しました。

- ・ ヘルピー協働隊通信への記事掲載（配信先 61 団体）

<成果・残された課題>

- ・ 職域と連携して取り組みがすすめられています。
- ・ 引き続きターゲットに応じた生活習慣病予防対策の必要があります。  
（来年度以降の事業展開予定）
- ・ 各種イベント等での普及啓発を継続します。
- ・ 特定健康診査の受診や生活習慣病予防対策が効果的、効率的に実施できるよう、地域・職域連携懇話会を活用し支援します。

## （２）メンタルヘルス対策

### 1. 自殺対策・こころの健康

<現状課題>

松阪地域は、人口 10 万対自殺者数が男女共に三重県平均を上回っていることから、教育機関、職域、地区組織、専門医療機関等と連携して、自殺対策を更に進める必要があります。

また、40 代、50 代の働く世代でストレスへの対処があまりできていない人の割合が高いことから、就労層のストレス対策についても協議が必要です。

<取組内容>

- ・ 市町の自殺対策計画策定に向けた勉強会を開催し、情報交換等の情報提供を行いました。
- ・ 松阪地域自殺・うつ対策ネットワーク会議の開催（年 1 回）
- ・ 自殺予防研修会の開催（年 1 回）  
※研修会は、こころ元気会等、他のネットワークにも参加を呼び掛ける。
- ・ 自殺予防週間、自殺対策強化月間における街頭啓発、各団体イベント等での普及啓発（年 10 回）
- ・ 保健所ホームページへの情報・記事掲載
- ・ ヘルピー協働隊通信への記事掲載（年 4 回/配信先 61 団体）

<成果・残された課題>

- ・ 自殺予防対策の推進のためには、引き続き関係機関と連携しながら必要な知識や技術の理解を深める必要がある。

（来年度以降の事業展開予定）

- ・ 各種イベントでの普及啓発の継続。
- ・ 市町、教育機関、専門医療機関、民間団体と等との連携し、幅広い世代への啓発を実施します。
- ・ 「松阪地域・職域連携懇話会」を活用し、ストレス対処についても協議や啓発を行います。
- ・ 引き続き、地域での自殺相談等に対応する人材の育成

### (3) 健康づくりの推進

#### 1. 栄養・食生活

##### <現状課題>

20 歳代の若い世代ほど、朝食を毎日食べない・野菜を食べないといった状況があるため、若い時期からの食生活改善への啓発が必要です。

また、災害時においても望ましい食生活が送れるよう、平常時から備えをしておく必要があります。

##### <取組内容>

- ・ 野菜摂取増加をめざした啓発（年 6 回）
- ・ 人材育成及び連携
  - 松阪市健康づくり食育推進会議への参加（年 1 回）
  - 食生活改善推進員研修会及び情報提供助言（年 4 回）
  - 地域活動栄養士会定例会時の情報提供助言（年 4 回）
  - 地域栄養管理ネットワーク研究会委員会（年 1 回）
- ・ 給食施設指導
  - 巡回指導（年 31 施設）
  - 給食施設従事者研修会（年 1 回）
- ・ 健康づくり応援の店登録店 25 店への健康情報の提供（年 1 回）
- ・ 災害時の栄養・食支援活動のための市町栄養士連絡会の開催（年 4 回）
- ・ ヘルピー協働隊通信への記事掲載（配信先 61 団体）
- ・ 保健所ホームページへの情報・記事掲載

##### <成果・残された課題>

災害時の栄養・食生活支援活動について、食支援を行う市町行政栄養士の連絡会を開催しマニュアルの作成に取り組みました。引き続き災害時の栄養・食生活支援の具体的な活動についての検討が必要です。

（来年度以降の事業展開予定）

- ・ 野菜摂取量増加をめざした啓発の継続
- ・ 社員食堂の把握
- ・ 健康づくり応援の店登録店への健康情報の提供及び新規登録店の増加。
- ・ 保健所ホームページ、ヘルピー協働隊通信などからの情報発信

#### 2. 身体活動・運動

##### <現状課題>

- ・ 日常生活における歩数の減少

##### <取組内容>

- ・ 健康増進普及月間及びロコモティブシンドロームの普及啓発の実施（年 1 回）
- ・ 協働団体の情報共有の場の提供（年 1 回）

- ・ ヘルピー協働隊通信への記事掲載（配信先 61 団体）

<成果・残された課題>

- ・ 日常生活における歩数増加につながるよう、健康マイレージ事業を推進するなど環境整備をすすめる必要がある。
- ・ ロコモティブシンドロームの認知度はまだ低いと思われるため、引き続き啓発が必要です。

（来年度以降の事業展開予定）

- ・ 健康マイレージ事業の推進
- ・ 健康増進普及月間及びロコモティブシンドロームの普及啓発の継続
- ・ ヘルピー協働隊通信などからの情報発信

### 3. たばこ対策

<現状課題>

受動喫煙や副流煙による体への影響について、成人より中学生の方が認知が低いこと、喫煙が影響する疾患COPDの認知が不十分である現状から、喫煙に関する更なる取組みが必要と思われます。

<取組内容>

- ・ 各協働イベントにおいて、受動喫煙防止の普及啓発（年 3 回）
- ・ 「世界禁煙デー」及び「禁煙週間」の普及啓発（年 1 回）
- ・ ヘルピー協働隊通信への記事掲載（配信先 61 団体）

<成果・残された課題>

- ・ 特に若年層の喫煙率がさらに低下するような取組
- ・ 分煙徹底の推進

（来年度以降の事業展開予定）

- ・ 「世界禁煙デー」及び「禁煙週間」の普及啓発の継続
- ・ ホームページでの情報発信
- ・ 各種イベントでの受動喫煙防止普及啓発の実施
- ・ 相談・支援の継続
- ・ 各種イベント、研修会における普及啓発の実施
- ・ ヘルピー協働隊通信における情報発信

### 4. 歯・口腔

<現状課題>

地域における齲歯予防対策（フッ化物洗口など）にばらつきがあるため、引き続き、個々への啓発活動が必要である。

<取組内容>

- ・ 歯科医師会等との協働による「歯と口腔の健康まつり」における啓発・健康情報の提供（年 1 回）

- ・ 各協働イベント等での普及啓発（年3回）
- ・ ヘルピー協働隊通信への記事掲載（配信先61団体）

<成果・残された課題>

- ・ フッ化物洗口について、小学校での実施に向けて具体的な検討が進んでいます。
- ・ 引き続き、市町や歯科医師会等と連携した啓発等を実施する必要があります。
- ・ フッ化物洗口の取組を更に推進する必要があります。

**（４）社会環境づくりの推進等**

1. 管内市町や地域住民等と連携した取組

<現状課題>

- ・ ヘルピー協働隊メンバー連携のため、継続した支援が必要です。

<取組内容>

- ・ ヘルピー協働隊メンバーへの情報発信、情報交換、情報共有の場の提供の継続
- ・ 郡部で開催される食生活改善推進員養成講座への支援

<成果・残された課題>

- ・ 協働隊メンバー同士の連携・協働の機会が減少傾向にあります。

（来年度以降の事業展開予定）

- ・ ヘルピー協働隊メンバーへの情報発信、情報交換、情報共有の場の提供の継続
- ・ 郡部で開催される食生活改善推進員養成講座への支援
- ・ 住民が健康づくりに取り組むための健康マイレージ事業など環境整備を推進する必要があります。

○ **伊勢保健所**

**（１）生活習慣病対策の推進**

1. がん・糖尿病・循環器疾患等

<現状課題>

今以上の高い受診率を目標にして、各市町は色々工夫し事業の改善に取り組んでおり、健診や保健指導の受診率は比較的高い状態を保っているが、評価において大きな改善は見られていません。

研修会の参加や指導技術の向上等、積極的な専門技術の向上が求められます。

<取組内容>

伊勢保健所管内地域・職域連携推進懇話会を活用し、がん、糖尿病・循環器疾患等の情報交換を行いました。

<成果・残された課題>

- ・ 情報交換を積極的に行うと共に、課題を共有し事業の改善
- ・ 研修会の積極的な参加、専門技術の向上等

（来年度以降の事業展開予定）

伊勢地域保健向上連絡会議で市町の情報交換・支援を行います。

## (2) メンタルヘルス対策

### 1. 自殺対策・こころの健康

#### <現状課題>

当管内は、県内で東紀州に次いで自殺死亡率が高く、自殺予防についての知識を深めるための普及啓発や自殺予防に関わることのできる人材育成が必要です。

#### <取組内容>

- ・ 対面相談支援事業  
精神科医師・保健師によるこころの健康相談
- ・ 人材育成事業
  - (1) ストレス対処研修
  - (2) 市町保健師及び相談支援関係者スキルアップ研修
- ・ 普及啓発事業
  - (1) 自殺予防講演会
  - (2) 自殺予防週間啓発
    - ・ 庁舎内に啓発コーナーを設置。のぼり旗を立て、啓発物品及びパンフレットの配布
    - ・ 伊勢保健所管内地域・職域連携推進懇話会の開催
  - (3) 自殺対策強化月間啓発
    - ① 管内ショッピングセンターにおいて街頭啓発  
啓発物品の配布と「自殺対策強化月間の呼びかけ」
    - ② 庁舎内に啓発コーナーを設置  
のぼり旗を立て、啓発物品及びパンフレットの配布
- ・ ホームページによる自殺予防啓発

#### <成果・残された課題>

自殺率の減少が少ない若年層（40歳未満）への働きかけとして、教育分野と行政担当者との連携を考える研修会を実施した。

（来年度以降の事業展開予定）

若年層対策に重点を置いた事業及び支援を実施していきます。

## (3) 健康づくりの推進

### 1. 栄養・食生活

#### <現状課題>

健康支援のための食の環境整備については、計画的に給食施設指導を巡回しているが、事業所においては給食管理が喫食者の健康管理と結びついているところがないです。

ポピュレーションアプローチでの取組のため、年度ごとの評価が困難です。

<取組内容>

- ・ 野菜摂取量・朝食摂取の促進
  - (1) 関係イベントでの展示等の啓発
  - (2) 市町栄養事業の情報共有
- ・ 食の環境整備（給食施設の栄養管理・ヘルシーメニューの提供・栄養成分表示の活用等）
  - (1) 健康づくり応援の店の伊勢志摩版として「いせしま健康もてなしの店」の登録促進や資質向上のための研修会の開催や情報発信
  - (2) 特定給食施設等の栄養管理に関する支援
  - (3) 関係イベントでの栄養成分表示の啓発
- ・ 人材育成・関連団体活動支援
  - (1) 栄養関係ネットワークづくり
  - (2) 食生活改善地区組織活動の組織運営支援

<成果・残された課題>

既存の事業を通じて、健康づくり計画を推進します。

(来年度以降の事業展開予定)

引き続き事業の継続と展開を進めます。

2. 身体活動・運動

<現状課題>

計画的な取り組みは実施していない。

<取組内容>

- ・ 市町が中心となり推進している事業の間接的な支援(市町担当者連絡調整や情報交換等)

<成果・残された課題>

引き続き市町の事業を間接的に支援します。

3. たばこ・飲酒対策

<現状課題>

- ・ たばこの健康への悪影響については、科学的に明らかとなっているにも関わらず、県庁舎のような公共施設でさえも敷地内全面禁煙となっておらず環境整備が一定以上進んでいない状況です。

<取組内容>

世界禁煙デー及び禁煙週間の啓発として、県伊勢庁舎玄関ロビーにて、来庁舎や庁舎内職員へ喫煙の健康影響等について、展示・啓発物の配布等により啓発を行いました。

地域職域連携推進懇話会を中心として、受動喫煙について情報交換と意見交換を行い、取組を推進していくことを確認しました。

<成果・残された課題>

継続した受動喫煙対策を推進していく必要があります。

飲酒対策については、既存の業務を通じて、健康づくり計画を推進していけるように工夫します。

(来年度以降の事業展開予定)

引き続き受動喫煙防止への取組、啓発は実施します。

4. 歯・口腔

<現状課題>

計画的な取り組みは実施していない。

<取組内容>

歯の衛生週間、8020推進月間ではポスターを掲示しました。

<成果・残された課題>

既存の業務を通じて、健康づくり計画を推進していけるように工夫します。

(来年度以降の事業展開予定)

引き続き市町の事業を間接的に支援します。

**(4) 社会環境づくりの推進等**

1. 管内市町や地域住民等と連携した取組

<現状課題>

定期的に連携した取り組みは困難な現状です。

<成果・残された課題>

必要時、連携しながら取り組んでいくこと。

○ **伊賀保健所**

**(1) 生活習慣病対策の推進**

1. がん

<現状課題>

伊賀地域においても死因の1位はがんです。

<取組内容>

- ・生命(いのち)の駅伝支援
- ・がん征圧月間普及啓発
- ・いがの国健康づくり地域・職域情報交換会において、市のがん検診の周知や地域と職域が実施している健康づくり事業について情報を共有

<成果・残された課題>

- ・生命(いのち)の駅伝ランナーへの激励及び募金の集約

(来年度以降の事業展開予定)

- ・生命(いのち)の駅伝支援
- ・がん検診受診啓発リーフレットの配布、がん征圧月間等ポスター掲示、市がん検診の周知等の取り組みを進める。

## 2. 糖尿病・循環器疾患等

### <現状課題>

- ・職域と連携し、働く世代へのアプローチが必要です。
- ・飲食店や企業の社員食堂などにおいて、健康づくりに関する取組が実践されるよう支援し、食環境整備に努めることが必要です。

### <取組内容>

- ・いがの国健康づくり地域・職域連携懇話会において、各関係機関が実施する健康づくりの取組について情報交換を行いました。
- ・栄養成分表示例と野菜たっぷりメニューを掲載したリーフレットを作成し、各種研修会、イベントや健康づくり応援の店の協力により地域住民に配布し、健康的な食生活について情報を発信しました。  
また、いがの国健康づくり地域・職域情報交換会に参加している事業所において、健康教育や特定保健指導の資料として活用いただき働く世代を対象に啓発しました。
- ・事業所給食施設を訪問し、節塩や野菜摂取量増加にむけた取組が推進されるよう情報を提供しました。
- ・給食施設従事者・地域職域健康づくり担当者研修会において、健康的な食生活が推進されるよう研修会を開催しました。
- ・健康増進普及月間に庁舎ロビーにおいて、また、名張市体育健康フェスタやコープみえ 2017 ぐらしの活動交流会において、ポスター掲示やパンフレット等の配布を行いました。

### <成果・残された課題>

- ・地域住民、地域職域、各関係機関等に引き続き、健康づくりに関する情報の提供、共有を行い、継続した取組を実践する必要があります。

(来年度以降の事業展開予定)

- ・いがの国健康づくり地域・職域連携懇話会及び情報交換会を開催し、健康づくりについて情報の提供・共有を行います。
- ・食生活改善普及運動や市、関係団体が開催する健康づくりイベント等に参加し啓発します。

## (2) メンタルヘルス対策

### 1. 自殺対策・こころの健康

#### <現状課題>

伊賀地域の年間自殺者数は、30 名程度で推移しています。

<取組内容>

- ・各イベント等での普及啓発
- ・自殺予防週間及び自殺対策強化月間中の街頭啓発
- ・メンタルパートナーの養成
- ・いがの国健康づくり地域・職域連携懇話会での「うつの予防と対応」をテーマにした情報提供

<成果・残された課題>

メンタルパートナーを20名養成しました。

(来年度以降の事業展開予定)

- ・自殺予防週間及び自殺対策強化月間中の街頭啓発の継続。
- ・市や関係団体が開催するイベント等に参加し、ポスターの掲示やパンフレットの配布により啓発を実施します。

### (3) 健康づくりの推進

#### 1. 栄養・食生活

<現状課題>

- ・成人1人1日あたりの平均野菜摂取量は、特に若い女性が低い傾向にあります。
- ・成人1人1日あたりの平均食塩摂取量は、減少しているが目標量には達していません。

<取組内容>

- ・いがの国健康づくり地域・職域連携懇話会において、各関係機関が実施する健康づくりの取組について情報交換を行いました。
- ・栄養成分表示例と野菜たっぷりメニューを掲載したリーフレットを作成し、各種研修会、イベントや健康づくり応援の店の協力により地域住民に配布し、健康的な食生活について情報を発信しました。  
また、いがの国健康づくり地域・職域情報交換会に参加している事業所において、健康教育や特定保健指導の資料として活用いただき働く世代を対象に啓発しました。
- ・事業所給食施設を訪問し、節塩や野菜摂取量増加にむけた取組が推進されるよう情報を提供しました。
- ・給食施設従事者・地域職域健康づくり担当者研修会において、健康的な食生活が推進されるよう研修会を開催しました。
- ・健康増進普及月間に庁舎ロビーにおいて、また、名張市体育健康フェスタやコープみえ2017 ぐらしの活動交流会において、ポスター掲示やパンフレット等の配布を行いました。

<成果・残された課題>

- ・地域住民、地域職域、各関係機関等に引き続き、健康づくりに関する情報の提

供、共有を行い、継続した取組を実践する必要があります。

(来年度以降の事業展開予定)

- ・いがの国健康づくり地域・職域連携懇話会及び情報交換会を開催し、健康づくりについて情報の提供・共有を行います。
- ・食生活改善普及運動や市や関係団体が開催する健康づくりイベント等に参加し啓発します。

## 2. 身体活動・運動

<現状課題>

- ・地域における身体活動の取組について、詳細を把握していません。

<取組内容>

- ・健康増進普及月間に庁舎ロビーに、また、名張市体育健康フェスタやコープみえ2017 ぐらしの活動交流会において、ポスター掲示やパンフレット等の配布を行いました。

<成果・残された課題>

- ・地域における身体活動の取組について、詳細を把握していません。

(来年度以降の事業展開予定)

- ・健康増進普及月間や市や関係団体が開催する健康づくりイベント等に参加し啓発します。

## 3. たばこ・飲酒対策

<現状課題>

- ・地域におけるたばこ、飲酒対策の取組について、詳細を把握していません。

<取組内容>

- ・健康増進普及月間に庁舎ロビーに、また、名張市体育健康フェスタやコープみえ2017 ぐらしの活動交流会において、ポスター掲示やパンフレット等の配布を行いました。

<成果・残された課題>

- ・地域におけるタバコ、飲酒対策の取組について、詳細を把握していません。

(来年度以降の事業展開予定)

- ・健康増進普及月間や市や関係団体が開催する健康づくりイベント等に参加し啓発します。

## (4) 社会環境づくりの推進等

### 1. 管内市町や地域住民等と連携した取組

<現状課題>

いがの国健康づくり地域職域連携推進事業の要綱に基づき、地域と職域の健康づくり等について協議検討、情報交換を行っているが、懇話会委員等全ての委員に共通した情報を見い出すのは困難です。

<取組内容>

- ・いがの国健康づくり地域職域連携推進懇話会の実施（1回）
- ・地域職域健康づくり担当者研修会の開催（1回）
- ・いがの国地域職域健康づくり情報交換会の実施（1回）

<成果・残された課題>

- ・懇話会や情報交換会において、健康づくりに関するそれぞれの取組について情報を共有できる場となりました。
- ・情報交換会では、健康づくりや感染症予防の取組について事前資料として情報をいただくことで、当日欠席の事業所からも情報の提供があり、より多くの事例を共有することができました。

（来年度以降の事業展開予定）

- ・引き続き、懇話会や情報交換会を開催し、それぞれが実施している健康づくり活動について、また課題などについて情報を共有します。

## ○ 尾鷲保健所

### （1）生活習慣病対策の推進

#### 1. がん

<現状課題>

東紀州にがん患者やその家族が交流や情報交換を行う場が少ない。

<取組内容>

- ・ 生命の駅伝の支援
- ・ がんサロンの支援
- ・ 啓発の実施

<成果・残された課題>

生命の駅伝の支援を行うことでがんについて周知することができました。また、がんサロンの支援を行うことでがん患者とその家族の支援を行いました。

尾鷲市健康 Happyday（健康まつり）、紀北町みんなでいこか！総合けんしんの場で参加者の住民に啓発ができましたが、今後は対象を広め若い世代にも啓発を行っていく必要があります。

また尾鷲管内において、今後も継続的にがんサロンが開催され、定着していくよう支援をしていきます。

（来年度以降の事業展開予定）

- ・ がんサロンの支援
- ・ 生命の駅伝の支援
- ・ 若い世代も含めた啓発の実施

## (2) メンタルヘルス対策

### 1. 自殺対策・こころの健康

#### <現状課題>

管内は自殺死亡率が高い地域であり、保健所のみでの活動では限界があるため各関係機関・団体との連携、協力が不可欠です。

#### <取組内容>

尾鷲地域自殺対策ネットワーク会議の開催（2回）、関係者研修会（3回）、啓発用リーフレットの更新、管内スーパー等における街頭キャンペーン、2017年商品・くらしの活動交流会での啓発、尾鷲高校文化祭における啓発、尾鷲健康 HappyDay（健康まつり）での啓発、みんなでいこか！総合けんしんでの啓発

#### <成果・残された課題>

- ・地域自殺対策ネットワーク会議において、市町が自殺対策計画を策定するにあたり、地域ネットワークの参加を得て進めることが、手引き中計画策定流れの中で重要な位置づけとなっていることを共有したところ、ネットワーク委員から協力して進めていく由、意見が活発に出されました。平成30年度は、市町の計画策定に関して、共に協働していくことの賛同を得ることができました。
- ・啓発活動中に、住民から自殺に関する情報を得ることが多々あり、今後もこの地域の強みと考えられる、住民同士のつながりを生かせるような啓発活動を継続していくとともに、地域支援者等の自殺対策に関するスキルアップを図っていく必要があります。

(来年度以降の事業展開予定)

- ・尾鷲地域自殺対策ネットワーク会議の開催
- ・講演会の開催
- ・啓発の実施

## (3) 健康づくりの推進

### 1. 栄養・食生活

#### <現状課題>

三重において、すべての世代で野菜の摂取が不足しています。とりわけ20～40歳の女性では脂肪のエネルギー比率が高く、野菜や果物、カルシウムの摂取量が低い傾向があり、朝食摂取と食事バランスの見直しが必要な状態です。

#### <取組内容>

給食施設への指導、栄養表示等の指導、地域栄養活動の支援、コープみえ商品とくらしの活動交流会での啓発、尾鷲高校文化祭での啓発、健康づくり応援の店での

啓発

<成果・残された課題>

いろいろな場で野菜や食生活等についての啓発を行いました。食生活改善のための情報発信を行うことができました。野菜摂取量の不足や若い世代の朝食の欠食率を改善し、食事バランスの見直しには時間がかかりますので、啓発等の取り組みを引き続き進めていきます。また、食育の推進するため、給食施設の栄養管理の充実等の食環境を整えていきます。

(来年度以降の事業展開予定)

- ・ 地域栄養活動の支援
- ・ 啓発の実施

## 2. たばこ・飲酒対策

<現状課題>

未成年の喫煙や受動喫煙の問題があります。喫煙は生活習慣病につながるため、たばこの害の周知や受動喫煙防止のための支援が必要です。

また、管内は飲酒に関して寛容であり、市で行われたアンケート結果においても適正量を超えた飲酒を行っている者が多い結果になっています。

<取組内容>

尾鷲高校、コープくらしの交流会における受動喫煙防止啓発、紀北町総合けんしん会場や尾鷲市健康 HappyDay 会場等でのアルコールパッチテストの実施（3回）、適正飲酒量に関する呼びかけを行いました。

<成果・残された課題>

受動喫煙の問題、適正飲酒量やアルコールの害等に関する周知など、住民に直接声をかけなどの情報の発信を行いました。

引き続き、管内住民に正しい情報を伝えられるように啓発を行います。

(来年度以降の事業展開予定)

- ・ アルコールパッチテストの実施
- ・ 啓発の実施

## 3. 歯・口腔

<現状課題>

管内の乳幼児のう歯の罹患率は高く、乳幼児期のう歯は成人にも移行していく可能性が高いと考えられます。地域の高校では、う歯罹患率や未処置者の多いことに問題意識を持っています。生涯通じた健康を支えるためには、乳幼児期から予防していく必要があります。

<取組内容>

尾鷲高校文化祭、コープみえ くらしと商品の交流会での啓発

<成果・残された課題>

管内の乳幼児のう歯の罹患率は、三重県の平均値と比べると高い傾向にあります。高校生の世代でも高い傾向がみられます。そこで尾鷲高校との協働で文化祭にて、歯や口腔の健康が大切なことを啓発することができました。しかし、現在の乳幼児期のう歯の罹患率が高さが、今後も高校生、成人世代に引き継がれることになるので、今後も歯や口腔の健康が大切なことを継続して啓発する必要があります。

(来年度以降の事業展開予定)

- ・ 啓発の実施

#### (4) 社会環境づくりの推進等

##### 1. 管内市町や地域住民等と連携した取組

<現状課題>

各種啓発において管内市町と連携した取り組みを進めていますが、対象とする地域住民が健康づくり等に関心のある住民に限られています。

<取組内容>

管内スーパーにおける啓発、コープみえ くらしと商品の活動交流会での啓発、尾鷲健康 HappyDay (健康まつり) における啓発、みんなでいこか! 総合けんしんにおける啓発

<成果・残された課題>

各種啓発やイベントの参加者に情報の発信や啓発を行いました。しかし一部の住民に限られているので、健康づくりの輪をひろげるように、健康マイレージ事業などの健康づくりについての情報提供を今後もすすめていく必要があります。

(来年度以降の事業展開予定)

- ・ 各種啓発の実施

### ○ 熊野保健所

#### (1) 生活習慣病対策の推進

##### 1. がん・糖尿病・循環器疾患等

<現状課題>

がんは県内における死因の第1位であり、熊野地域では、特に男性の肝がん、胃がん、女性の大腸がんによる死亡率が高い傾向にあります。(SMR平成23~27年)

また、生活習慣病死亡率(人口10万人対)は、三重県全体よりも高い状況です。

<取組内容>

- ・ 「生命の駅伝」実施への協力
- ・ がん関連のパンフレット・リーフレット配布による啓発活動
- ・ がん相談支援センターが実施する事業の周知
- ・ 肝炎ウイルス検査の実施及び重症化予防事業の実施
- ・ 紀南健康長寿推進協議会に参画し、糖尿病対策の体制づくり等について協議を实

施

<成果・残された課題>

肝炎ウイルス検査の実施や、がん検診による早期発見に対する県民の意識の向上を図ることが必要です。

(来年度以降の事業展開予定)

肝臓がん予防のため、発症の原因となるウイルス性肝炎の検査や重症化予防の推進を実施します。引き続き、紀南健康長寿推進協議会に参画し、糖尿病対策について継続的に協議を行います。

## (2) メンタルヘルス対策

### 1. 自殺対策・こころの健康

<現状課題>

関連機関が連携し、自殺予防の支援体制を整えるとともに、地域の住民が自分自身や家族の命の大切さを認識し、生きやすい地域づくりを推進する取組が必要です。

<取組内容>

- ・ 紀南地域自殺対策連絡会を開催し、自殺未遂者への対応についての検討を実施
- ・ 紀南地域自殺対策連絡会コア会議を開催し、市町の自殺対策計画策定に向けた準備の実施
- ・ 自殺予防支援者研修会において「不登校・ひきこもりの家族支援」についての講演を実施
- ・ アルコール研修会において「SBIRTS (簡易介入法による医療及び断酒会との連携)の普及について」の講演を実施
- ・ 自殺予防週間及び自殺対策強化月間における啓発の実施

<成果・残された課題>

紀南地域自殺対策連絡会及びコア会議を設置して、ネットワークの強化・拡大が図れました。また、自殺のリスク要因となるひきこもりやアルコールについて、支援者の人材育成を行いました。継続して、自殺未遂者への支援についての検討や支援者の人材育成が必要です。

(来年度以降の事業展開予定)

- ・ 自殺未遂者への支援体制の検討や支援者の人材育成を実施します。
- ・ 市町の自殺対策計画策定に向けての支援を実施します。

## (3) 健康づくりの推進

### 1. 栄養・食生活

<現状課題>

生活習慣病予防の観点から、地域住民が、質・量ともにバランスのとれた食生活を楽しむことができるよう、知識や社会資源の充実を引き続き図る必要があります。

<取組内容>

- ・地域栄養管理ネットワーク委員会・研修会の開催
- ・野菜摂取推進のための健康教育の実施や啓発活動の実施
- ・市町栄養業務連絡会議を通じた市町栄養士支援
- ・給食施設指導を通じた食環境づくり
- ・健康づくり応援の店との協働啓発

<成果・残された課題>

各関係団体、組織や市町と連携をとりながら事業を推進しています。今後も継続的に実施することで、地域住民の食環境整備を図ります。

(来年度以降の事業展開予定)

引き続き、関係機関や関係団体と連携しながら健康教育や啓発活動を行うとともに、食育月間や食生活改善普及運動期間に重点的に啓発を実施します。

## 2. 身体活動・運動

<取組内容>

健康増進普及月間等において、啓発ポスター掲示やパンフレットの設置を行いました。

(来年度以降の事業展開予定)

引き続き、月間や地域健康づくりイベント等への参画及び啓発等を実施します。

## 3. たばこ対策

<現状課題>

成人および未成年者の喫煙率は共に低下しているが、たばこは、多くの疾患との関連性が指摘され、低出生体重児や流産・早産など妊娠に関連した異常の危険因子であることが明らかにされていることから、喫煙率が今後さらに低下するよう取り組む必要があります。

また、受動喫煙防止に向けた環境整備を行っていく必要があります。

<取組内容>

啓発活動の一環として、「世界禁煙デー」及び「禁煙週間」である平成 29 年 5 月 31 日～6 月 7 日の間、県熊野庁舎内 1 階熊野県民ホールにて保健所実習生作成の掲示物・ポスターの掲示、啓発物品（ティッシュ、ウェットティッシュ、パンフレット）の配布を行いました。

<成果・残された課題>

今後も、普及啓発活動を継続して実施する必要があります。

(来年度以降の事業展開予定)

「世界禁煙デー」及び「禁煙週間」に重点的に啓発を行います。

## 4. 歯・口腔

<現状課題>

保育園、幼稚園、小学校でのフッ化物洗口の取組が県内でも進んでいる地域であ

り、また、歯科衛生士が配置されている町もあり、口腔衛生への意識は高いと思われます。

<取組内容>

「歯と口の健康週間」にあわせ、ポスター掲示やパンフレット配布等の啓発を実施しました。

(来年度以降の事業展開予定)

引き続き、歯と口の健康週間、8020 推進月間にあわせて啓発等を実施します。

#### (4) 社会環境づくりの推進等

##### 1. 管内市町や地域住民等と連携した取組

<取組内容>

管内市町に事務局を置く紀南健康長寿推進協議会へ参画し、各種会議や協議会事業へ参加し、市町支援を行いました。

<成果・残された課題>

管内の状況把握につとめ、必要時に保健所として情報提供を行っていく必要があります。

(来年度以降の事業展開予定)

引き続き協議会の一員として各種会議や協議会事業へ参加し、支援を行います。

##### 2. 地域と職域の連携

<現状課題>

地域と職域との情報共有、連携が必要です。

<取組内容>

くまの地域職・域連携推進懇話会を開催し、健康づくり及びメンタルヘルスに関する取組についての情報交換を実施しました。

<成果・残された課題>

メンタルヘルスだけでなく、健康づくりの取組についても情報交換を行うことで、それぞれの地域・職域での課題が明らかになりました。現在では懇話会での情報交換にとどまっているため、今後は具体的な事業での連携が必要です。

<来年度以降の事業展開予定>

地域と職域のネットワークを継続するため、引き続き懇話会を実施し、情報共有及び具体的な事業連携等を検討します。